

【レンタル商品の消費電力を御確認下さい】

ご利用商品によっては、たこ足配線等が原因で電圧が低下する恐れがありますので、ご注意下さい。

電圧が低下すると、商品が正常に動作しない場合がございます。

突然作動しなくなった場合は、建物のブレーカーが落ちた可能性がございます。

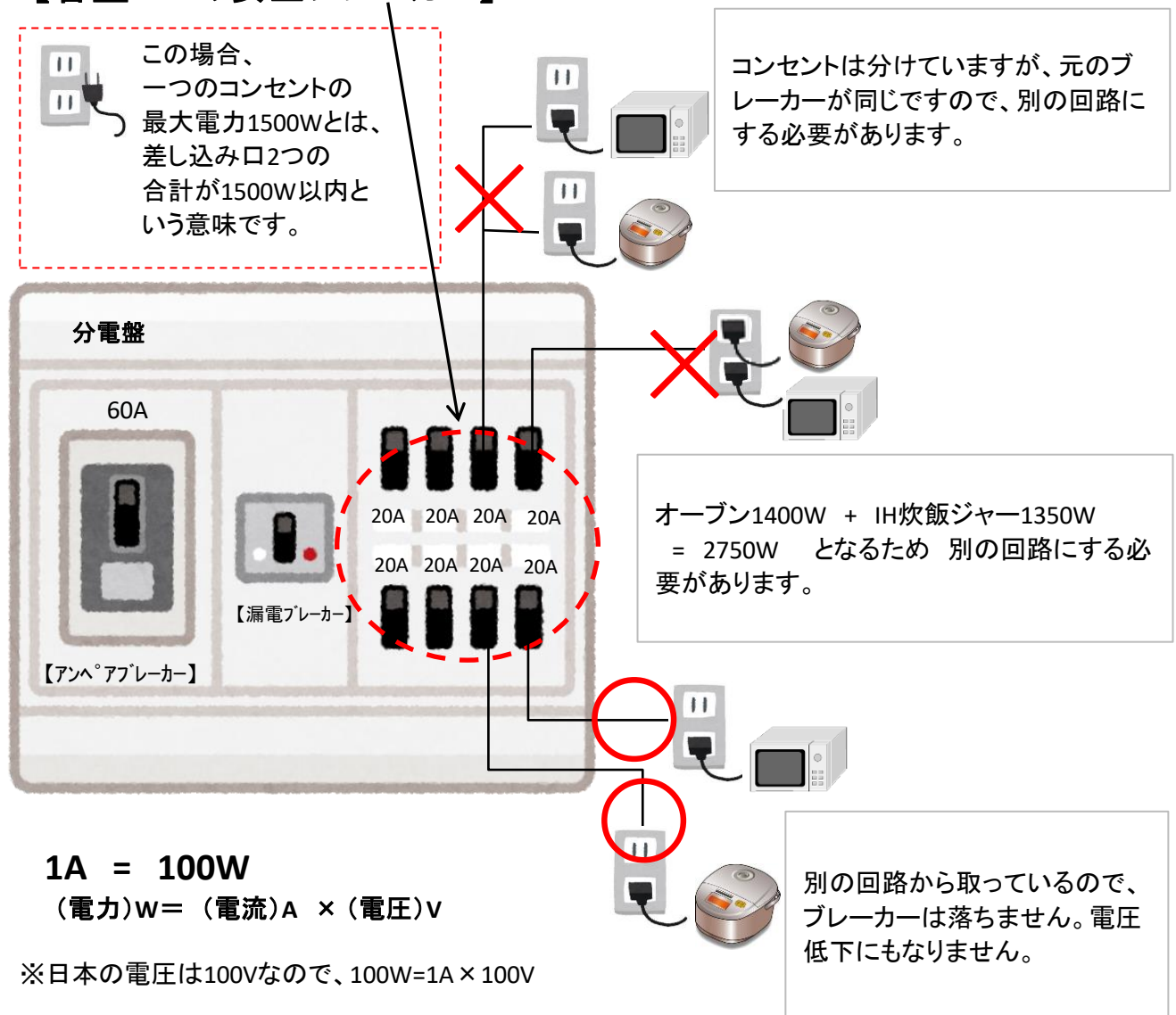
また、一つのコンセントの最大電力は1500Wまでとなります。

複数台の電化製品を使用する場合、コンセントを分けても元となるブレーカーが同じ場合は電圧低下となる可能性が高いです。

その場合、コンセントを分けるのではなく、ブレーカーの回路を分けてお使いください。

商品を正常にご利用いただく為に、お客様の利用環境を御確認ください。

【容量20Aの安全ブレーカー】





室内専用オゾン発生装置

エアフィーノ / VS-50S

この度は、弊社の業務用オゾン発生装置「エアフィーノ」(VS-50S)をお買い求めいただきありがとうございます。本装置を安全にかつ効果的にご利用いただくために、本書をご精読の上、正しくご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■ 開発・製造元

オーニット株式会社

〒709-0721 岡山県赤松市桜が丘東3丁目 3-765 TEL: 086-995-9155 FAX: 086-995-9156
http://www.ohnit.co.jp

■ 販売元・お問い合わせ先

販売元またはご自身で緊急連絡先をご記入ください。

会社名

部署名

担当者名

電話番号

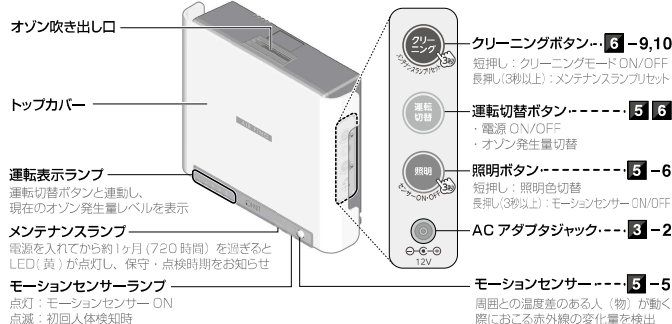
FAX 番号

1 はじめに

オゾンは極めて反応性の高い気体で、臭いの分子や雑菌と反応し、それらを短時間で消臭・除菌します。「エアフィーノ」は、独自のオゾン発生体を搭載した除菌・消臭用オゾン発生装置です。様々な場所での除菌・消臭にご利用可能です。5段階のオゾン発生レベル、容易なメンテナンスなど、優れた機能性・保守性はもちろん、居住空間での利用に配慮し、インテリア性の高い外観を目指しました。室内の除菌・消臭、衛生管理に弊社の「エアフィーノ」を有効にご利用いただくとともに、末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

2 各部名称および付属品

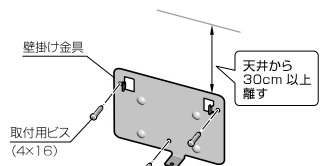
お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



- 【付属品】
- 取扱説明書(本書)
 - 保証書兼クーラー登録用はがき×1
 - 個人情報保護シール×1
 - ACアダプタ
 - メンテナンスブラシ
 - 壁掛け金具
 - スタンド
 - 4×10 取付用ビス
 - 4×16 取付用ビス

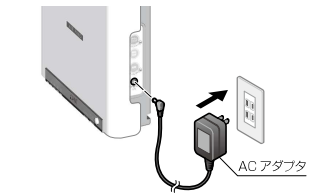
3 設置方法

1 壁掛け金具の取り付け (壁面設置の場合)

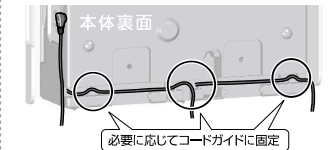


- できるだけ高く、避へ物のないところに設置する (室内のすみずみにまでオゾンを拡散させるため)
- 0~40℃で結露がないうちで、天井から30cm以上離れた場所に設置する。
 - ※ 長期間使用すると天井壁面が塵埃で黒く汚れることがあります。
 - 安心モードONで運転させる場合は、人の出入口から5m以内に設置する。

2 ACアダプタの接続

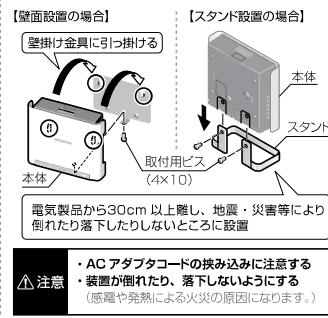


3 ACアダプタコードの取り回し (壁面設置の場合)



- コードガイド固定後は、コードを強く引っ張ったり無理な力を加えない (断線や被覆がやぶれる原因になります。)

4 本体の取り付け



4 使用上のご注意 正しくお使いいただくために、必ずお守りください

本装置の使い方を誤ると火災や感電などの事故を起こす恐れがあります。保守管理ご担当の方は、お客様の身体や財産に損害を与えないため、この取扱説明書を手近な所に置き、製品が正しく使われるよう遵守・保管管理してください。

- (※1) 重傷/失明/感電/けが/やけど/骨折/中毒などで、後遺症があるもの、また、治療に入院や長期通院を要するもの
- (※2) 傷害/治療に入院や長期通院を要さない感電/けが/やけどなど
- (※3) 物的損傷/家屋/家財/設備機器、および家電・ペットなどに関わる拡大損傷

使用方法に関する注意事項

危険 人が死亡または重傷(※1)を負うような切迫した危険がある内容です。

分解・改造はしない
修理は販売元に依頼する (感電による死亡の恐れがあります。)
※本体内部には高圧電源を使用しています。

警告 人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容です。

コンセントの配線器具の定格を超える使い方や、AC100V50/60Hz以外での使用はしない (火災や感電の恐れがあります。)

ACアダプタを破損するようにはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる、挟み込むなど) (漏電や感電の恐れがあります。)
※破損した場合は、販売元に相談ください。

ACアダプタプラグおよびACアダプタ本体は差し込み口に根元まで確実に差し込む (感電や発熱による火災の原因になります。)
※備んだプラグ/アダプタ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACアダプタは必ず付属のものを使用し、付属のACアダプタを他の製品で使用しない (故障の原因になります。)

本体を落としたり、強い衝撃を与えた場合は使用を中止し、販売元に連絡する (本体内部のオゾン発生体が破損し、火災や感電による死亡の恐れがあります。)

本体に水をかけない (故障や漏電の原因になります。)
※本装置は防水、防滴仕様ではありません。

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない (感電の原因になります。)

「仕様」に記載されている内容外で使用しない (故障の原因になります。)

換気のできない場所で運転しない (オゾン濃度が高くなり過ぎて気分が悪くなる恐れがあります。)
※換気手段(窓・扉・換気設備)がある場所でご使用ください。

オゾン発生中に吹き出し口から、息を直接吸い込まない (高濃度オゾンを経口吸入すると人体に被害が及ぶ恐れがあります。)

オゾン吹き出し口から、物を入れない (感電や故障の原因になります。)

お手入れに関する注意事項

警告 人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容です。

お手入れの際は必ずACアダプタ本体をコンセントから抜く (感電の原因になります。)
※ACアダプタを抜くときは、コードではなくACアダプタ本体を持ってください。

ACアダプタのほこりなどは定期的に取り除く (火災の原因になります。)
※ほこりがたまるとう蒸気などで絶縁不良になります。

オゾンに関する注意事項

注意 人が傷害(※2)を負ったり、物的損傷(※3)の発生の可能性が想定される内容です。

- 下記材質は高濃度オゾンに直接触れないようにする
- ① 天然ゴム類 (劣化の原因になります)
 - ※ある程度オゾン耐性が認められているもの
 - シリコン(Si)、アクリル(ACM、ANM)、エチレンプロピレン(EPD、EPDM)、ブチル(HR)の各ゴム
 - ※高濃度オゾンに直接触れても耐性があるものフッ素(FPM)
 - ② 貴金属製品などの貴重品 (オゾンの酸化作用・漂白作用による劣化を招く恐れがあります。)
 - ③ 塗装皮革・油膜の無い鉄製品などの錆びやすいもの (オゾンの酸化作用で錆の進行が促進される恐れがあります。)
 - ※一般的にオゾン耐性があるものアルミ製品・ステンレス製品
 - ※高濃度オゾンに直接触れても耐性があるもの SUS304・SUS316
 - ④ 一部の皮革製品 (オゾンにより質感が変化する恐れがあります。)

必ず使用目的と広さにあった発生量で使用する

※本装置は空間のオゾン濃度が安全なレベルとなるようオゾン発生量を設定することで、有人下でもご使用いただけます。※誤ったオゾン発生量の設定をすると、オゾンの効果がなくなったり、人体に影響を与える可能性があります。

※オゾンは、正しい使用方法で用いていれば危険ではありませんが、オゾンに対する感じ方には個人差がありますので、ご使用の際は下記に注意してください。

- オゾンの吹き出し口に近接して使用しない
- 乳幼児の手の届く場所では使用しない
- 体の不調等を意思表示できない病人や老人のいる場所で使用する際は十分に注意して使用する
- 呼吸器の弱い方(乳幼児・喘息の方など)は特に濃い濃度のオゾンを取らないように注意する
- 小動物のいる環境で使用する際は、その種目に注意を払う

空气中オゾンの生物への影響

濃度 [ppm]	生物への影響	備考
0.01~0.03	ほとんど変わらない	自然界の日の温度
0.04~0.06	さわやかな臭い、オゾンの臭いがある	海岸・山 (備天の夏PM2.00)
0.06	これ未満は慢性肺疾患患者の肝機能に影響なし	オキシダント環境基準
0.10	人体への影響 (のどが痛い、鼻が痛い、目が痛い)	日本産業衛生協会許容勧告濃度、USA 環境基準

5 設定・確認方法

設定の記録について

本製品は電源を再び入れた際に、元の設定で動作するようになっています。設定を変更した場合は、最後に操作してから30秒経過後に設定が記録されます。30秒経過せずに電源を切った場合、設定は記録されませんのでご注意ください。

1 運転開始

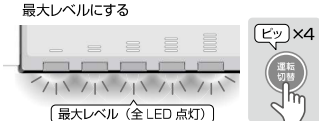
運転切替ボタンを押して、運転を開始する(ファンが動作し、オゾンの発生を開始します。)



※トップカバーが確実に取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていないと電源 ON しません。

2 オゾン発生体の発光確認

● 運転切替ボタンを押して、オゾン発生量を最大レベルにする



● 吹き出し口から発生体を確認する



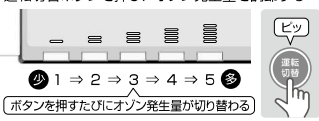
注意 吹き出し口の近くで、長時間オゾンを吸引しない(高濃度オゾン長時間吸引すると人体に被害がある恐れがあります。)

下記の場合は故障の可能性があるため販売元にご連絡ください

- 発生体の表面が乾いているのに全く発光しない
- 発光色が薄紫色ではなくオレンジ色の部分がある
- 発光が全体でなく、一点に集中していて稲妻状の放電現象が見られる

3 オゾン発生量の調節

運転切替ボタンを押して、オゾン発生量を調節する



※発生量が最大のとときにボタンを押すと、「ピー」と鳴り、LED が消灯し、電源 OFF (ファン停止) します。 ※クリーニングモード中は発生量の切り替えはできません。

空間の広さとオゾン発生量の関連表 (推奨設定例)

オゾン発生量	広さ (天井高 2.5m)
LEVEL1 (10mg/h)	20㎡ (12畳)~
LEVEL2 (20mg/h)	40㎡ (24畳)~
LEVEL3 (30mg/h)	60㎡ (36畳)~
LEVEL4 (40mg/h)	80㎡ (48畳)~
LEVEL5 (50mg/h)	100㎡ (60畳)

※上記設定の場合、オゾン濃度は通常モード時: 0.1ppm、安心モード時: 0.05ppm を超えないように設計しています。 ※人がいる空間を消費目的で使用する場合は目安です。 ※設置する場所の温度や湿度が高い場合はオゾン濃度を強めに、低い場合は弱めに設定してください。 ※100㎡を超える空間で使用する場合は、送風等で拡散した方がより効果的です。

4 安心モードの設定

安心モードを使用する場合、照明ボタンを長押し(3秒以上)し、モーションセンサーを動作させる

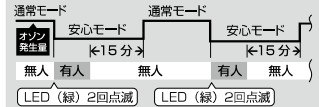


※もう一度長押しすると「ビッ」と鳴り、LED が消灯しモーションセンサーを OFF します。 ※初期設定は、安心モード OFF です。

モーションセンサーを汚さない(検出性能劣化の原因になります。)
モーションセンサーに荷物や衝撃を加えない(動作不良・性能劣化の原因になります。)
※柔らかな素材(ポリエチレン)でできているため、変形や破損を生じます。

安心モードについて

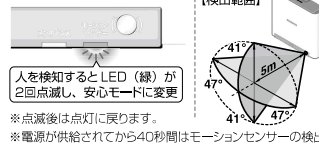
モーションセンサーが人を検知すると安心モードになり、オゾン発生量を通常モードの半分にします。



※15分間人を検知しないと、通常モードに戻ります。

5 モーションセンサーの反応確認

モーションセンサーが人を検知し、安心モードになっているか確認する



モーションセンサーについて

モーションセンサーは、赤外線の変化を検出する無電圧赤外線センサーです。下記のような場合には検知しないことがあるため、必ず実際の使用状況でセンサーが反応することを確認してください。

1. 人体以外の熱源を検出する場合(1) 小動物が検出範囲に入った場合(2) 太陽光、自動車のヘッドライト、白熱灯などの遠赤外線がセンサーに直射する場合(3) 冷暖房機器の温風、冷風や加湿器の水蒸気などにより検出範囲の温度が急激に変化した場合
2. 熱源を検出しにくい場合(1) ガラスやアクリルなど、遠赤外線を透過しにくい物体がセンサーと検出物体の間にある場合(2) 検出範囲内の熱源がほとんど動かない場合、もしくは高速に移動する場合

6 照明(イルミネーション)の設定

照明ボタンを押して、照明の設定を変更する



※「ビッ」と鳴ったら照明 OFF です。 ※明るい部屋では確認しにくいので、暗い場所で実施してください。

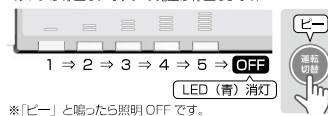
6 保守・点検方法

週に1度、オゾン発生を確認してください。1ヶ月に1度、下記のお手入れをしてください。

- 電源を入れてから約1ヶ月(720時間)経過するとメンテナンスランプ(黄)が点灯して保守・点検の推奨時期をお知らせします。
- 性能を長期間にわたって維持し、使用していただくために、月に1度はお手入れしてください。(※使用環境によっては1ヶ月より早くお手入れが必要な場合があります。)
- ホームページでは、さらに詳しいお手入れ方法を紹介しています。▶ <http://www.ohnit.co.jp>

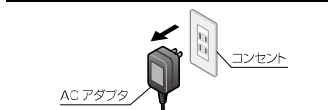
1 運転停止

運転切替ボタンを押して、電源を OFF する(ファンが停止し、オゾンの発生が停止します。)



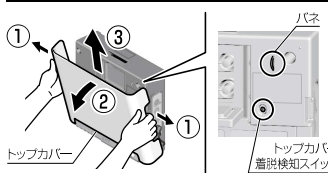
※「ピー」と鳴ったら照明 OFF です。

2 ACアダプタの取り外し



警告 お手入れの際には必ず AC アダプタをコンセントから抜く(感電の恐れがあります。)

3 トップカバーの取り外し



安全装置(トップカバー着脱検知スイッチ)について

安全のため、トップカバー(裏面の突起が本体内部のトップカバー着脱検知スイッチから離れると、安全装置がはたらき、電源が切れる仕組みになっています。トップカバーの取り付け、取り外しの際は、突起を破損しないように気をつけてください。

危険 トップカバー着脱検知スイッチに針金などを差し込んだり、バネに触れたりしない(感電の恐れがあります。)

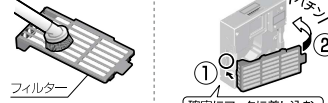
4 フィルターの点検・清掃

フィルターがゴミやほこりで目詰まりすると、オゾンが効果的に発生できなくなるだけでなく、オゾン発生体の寿命にも悪影響を及ぼします。定期的に点検し、蓄しゴミやほこりが付いている場合は掃除機等で掃除してください。

● フィルターを取り外す



● 掃除機等で掃除する



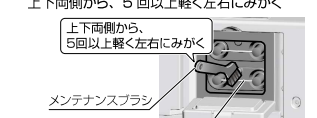
注意 フィルターはしっかりと取り付ける(故障の原因になります。)

5 本体・オゾン発生体のお手入れ

● ハッチを開く



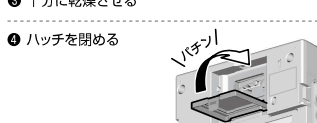
※ハッチは90°までしか開きません。無理に開かないでください。 ※吹出し口やハッチ付近が汚れている場合は水拭きしてください。



※オゾン発生体は割れやすいので、無理な力を入れてこすったりせず、なぞるように掃除してください。 ※オゾン発生体の表面に茶色や黒の付着物がこびりついて取れなくても、お手入れ後に発光が確認できれば問題ありません。

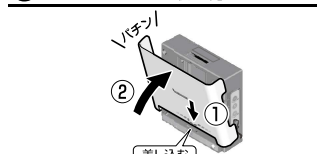
注意 本体に水をかけない(故障や漏電の原因になります。)
※本装置は防水、防滴仕様ではありません。

● 十分に乾燥させる

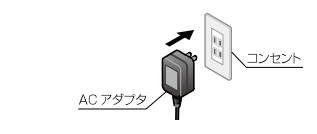


注意 ハッチは確実に閉める(故障や漏電の原因になります。)

6 トップカバーの取り付け



7 ACアダプタの取り付け



※本体設置前に必ず発光確認をしてください。

※発生体が十分に乾燥していない場合、または発光が確認できない場合は1時間程度針金を入れたままにしておき、再度確認してください。

8 各種機能の再設定・再確認

▶ 5 設定・確認方法 1~6 参照

7 仕様

製品名/型式	エアフィノ/V S-50S
電源	ACアダプター
定格入力	AC100V 50/60Hz
定格出力	DC12V
消費電力(アダプター使用時)	6.0W
本体消費電流	DC12V 400mA
オゾン発生量	通常モード 10/20/30/40/50mg/h (20°C60%RHの5段階切替) 安心モード 5/10/15/20/25mg/h (20°C60%RHの5段階切替)
吹き出し口濃度	1.85ppm
ファン定格風量	0.21m³/min
外形寸法	W236xD73.5xH202mm
本体重量	1.3kg
推奨適用広さ	12畳~60畳
使用温度湿度範囲	0~40°C(結露のないこと)

※当装置は薬法における医療器具ではありません。 ※上記仕様及び外観は予告なく変更することがあります。

8 アフターサービス

1 保証について

- 保証期間は、ご購入日から1か年です。
- 保証書(別途がき)は必ず「販売元・購入日」等の記入をご確認の上、大切に保管してください。

2 修理を依頼されるときは

- お求めの販売店にご相談ください。
- 本製品の補修用部品は製造打ち切り後8年を目安として保有しております。 その期間は原則として修理をお引き受け致します。

9 トラブルと対応

故障かな?と思ったら

下記対応を行っても解決しない場合は、「1. 具体的な状況」「2. 保証期間の有無」「3. 機種名称」をお買い上げの販売元までご連絡ください。

トラブルの内容	原因	対応	参照
電源が入らない	ACアダプタがコンセントから抜けている。	ACアダプタを差し込んでください。	3-2
	ACアダプタプラグが本体に差し込まれていない。	ACアダプタプラグを確実に差し込んでください。	
	運転状態になっていない。	運転切替ボタンを押して運転状態にしてください。	
ファンが回らない	ACアダプタコードが断線している。	ACアダプタの交換を依頼してください。	8-2
	電源がコンセントまで達していない。	ブレーカー等を確認してください。	-
	トップカバーが確実に取り付けられていない。	「ハッチ」というまで押し込んでください。	7-6
オゾン臭がしない	自動お手入れ機能によるファン停止。	故障ではないので、しばらく経ってもう一度確認してください。	6-9
	運転状態になっていない。	運転切替ボタンを押して運転状態にしてください。	5-1
	5分以上待ってもファンが回らない。	ファンの故障が考えられるので、修理を依頼してください。	8-2
オゾン発生体汚れている	運転状態になっていない。	運転切替ボタンを押して運転状態にしてください。	5-1
	自動お手入れ機能で汚れている。	お手入れをしてください。	6-5
	故障ではありません。	-	-
オゾン発生中に「シャー」と音がする	「ハチハチ」または「ジー」と音がする	オゾン発生体破損している可能性あり。修理を依頼してください。	8-2
照明(イルミネーション)が点灯しない	運転状態になっていない。	運転切替ボタンを押して運転状態にしてください。	5-1
他の電気製品にノイズが乗る	オゾン発生体の放電による影響の可能性あり。	設置場所を変更してください。	-
電源を再び入れた際に設定が変わっている	故障ではありません。	-	5